



ラグジュアリーの羅針盤

COMPASS OF LUXURY



「いわき靴下ラボ アンド ファクトリー」
取り扱いが難しい稀少な編み機が残る。
若手の育成にも力を入れている



「エジプトの女王」と呼ばれるエジプト超長綿、GIZA45を
独自に紡績した糸を使用。シルクのような艶と発色の良
さ、フィット感が特徴

一足二万円の靴下を作るメーカーがありま
す。(株)ウエストです。エジプト産の最高級超
長綿や極上のカシミヤ糸を使い、完璧に足の
形に添うように織り上げられた靴下です。越
前和紙に包まれ、桐箱に入れられ、真田紐をか
けられて販売されています。専門家の言葉を
借りれば「靴下の顔つき」が違うので売り場で
浮き上がって見えます。

この靴下を編むことができる特別な機械
は、日本に5台しかありません。さらに言え
ば、その機械を扱うことができる熟練技術者
は数えるほどしかいません。この機械と技術者
をとともに擁する日本の工場は、ただ1軒になっ
てしまいました。

福島県いわき市にあるこの工場は、もとも
と、大手肌着・靴下会社が所有してしまっ
たが、いわき市の事業が閉鎖されることとなり、
ウエストが設備と技術者をすべて引き受け、自
社工場「いわき靴下ラボ アンド ファクトリー」
として再生させました。

社長の西村京実さんは、この工場を知って
もらうためにクラウドファンディングを始めまし
た。隠れたテーマは、技術者の自尊心の覚醒で
す。「最高級の靴下を編むことができる機械を
扱える技術は特殊で、高い価値をもちます。こ

の事実をまずは技術者自身に自覚してもらい
たい」と京実さんは語ります。

現在、工場で働くスタッフは16人なので
が、彼らはこんな風に話しました。「私たち工
場労働者の技術は、とりかえがきくものとし
て安く買いたたかれてきた。そんなに高度な技
術だったとは、京実社長に指摘されるまで夢に
も思っていなかった」と。大手の経営者は、賃金
を上げなくていいように、技術の価値について
は「何も言わなかった」わけですね。

「工場が失われ、技術が失われてしまった後
に、惜しんでも手遅れなのです。そんな後悔は
したくない。そのためには何よりも、自分たち
で自分たちの価値を理解して、高く売る勝負
に出なくてはならない。人から言われたことし
かやってこなかった労働者にも責任があるので
す」と京実社長。かくして彼女が率いる工場労
働者たちは、技術の価値に覚醒し、自ら独自の
企画を立て、こゝでなくては作れない超高品
質の靴下を生産して、工場から直接、世界へと
発信するシステムを確立しようとしています。

靴下なんて3足1000円の消耗品でい
い、という考え方も根強くあります。逆にそ
うした量産品をこの工場は作りません。自分た
ちが作る製品の価値を理解してくれる顧客層

に向けて、正当な賃金をいただける価格で取
引していく。結果として日本のラグジュアリー
を世界に問いつながら、生産に関わる人すべてが
幸福になる商習慣を築くことも視野に入れて
います。そんな心意気は正しいターゲットに理
解され、クラウドファンディングは一日で目標
額を超えました。

いわきの工場発のこの試みが、全国の職人た
ちと心ある経営者に影響を与えていくことを
期待します。言われるままに安価なものを安
い賃金で作るだけの下請けから脱却し、正當
な自尊心をもち、主体的に世界に提案するこ
とで変化を作っていくというやり方がありま
す。次世代の製造業の幸福は、作る人の尊厳を
守ることが大前提になるといふこと、いわきラ
ボの挑戦は示唆しています。

中野香織

富山市出身。服飾史家として研究・講演・執筆
を行うほか企業の顧問を務める。東京大学大
学院修了。英国ケンブリッジ大学客員研究員、
明治大学特任教授などを務めた。著書多数。
ジェニー・リスター著、中野香織監修「新装版
時代を変えたミニの女王 マリー・クワント」(グ
ラフィック社)発売。1月27日(土)富山市立図書館
本館で開催される「まちづくりセミナー
2024」で講演予定。



技術者よ、覚醒せよ